

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域づくりとコミュニケーション (人間コミュニケーション学科)		選択必修	1	1.2	通年集中
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文 他	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>建学の精神「豊かな人間性」を持って「開かれた共創力」を社会実装化するために、福祉学分野に立脚したコミュニケーションの世界に触れて、自己と他者・社会の幸福に寄与できる素地を体感することを目的とする。</p> <p><概要>社会福祉学分野に立脚した持続可能な地域社会の課題解決に資する理論背景及びコミュニケーション・スキルについて、人間コミュニケーション学科の福祉学系教員(全員)が各自の専門性・実践を活かしつつ、オリジナリティ溢れる教育コンテンツを提供する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	人間コミュニケーション学科 1 年生の選択必修であり、同時に学科の福祉学系教員の教育的な専門性を一同に体験できる授業である。ぜひ楽しんで全ての回に参加してほしい。				
教科書	特に指定しない。				
参考書	講師により適宜紹介する。				
外部教材	講師により適宜紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	地域社会の課題解決に資する理論的背景を自身の行動に活かすことができる。			HSU(1) (2) (3) / HC(1) (3) (5)	
②	コミュニケーションのスキルを知り、実際に表現することができる。			HSU(4) (5) / HC(2) (6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業概要、学びの流れについて理解する) —産むこと、生まれてくることについて考察する。	講義・演習	授業中に学び体感できた内容を振り返り記録しておく。	2.5	
2	子どもが安心して成長するには何が必要? —子育てしやすい環境について考察する。	演習 グループワーク	第1-2回で学び体感できた内容をレポートにまとめる。	5	
3	将来の夢は? 10年後のあなたは何してる? —キャリアビジョンについて考察する。	演習 グループワーク	授業中に学び体感できた内容を振り返り記録しておく。	2.5	
4	お金があれば幸せ? ふつうの暮らして何? —現代社会におけるライフスタイルについて考察する。	演習 グループワーク	授業中に学び体感できた内容を振り返り記録しておく。	2.5	
5	LGBTQ って何だろう? 男女の違いってなに? —公平な社会について考察する。	演習 グループワーク	第3-5回で学び体感できた内容をレポートにまとめる。	5	
6	何のために働くの? 働くってどういうこと? —理想の働き方について考察する。	演習 グループワーク	授業中に学び体感できた内容を振り返り記録しておく。	2.5	
7	みんなが暮らしやすい街ってどんな街? —バリアフリーについて考察する。	演習 グループワーク	授業中に学び体感できた内容を振り返り記録しておく。	2.5	
8	どんな老い方をしたい? 理想の老後とは? —超高齢社会について考察する。	演習 グループワーク	全1-8回の授業で学び得た内容をまとめてレポート課題の作成に取り組む。	7.5	
試	試験				

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	20	0	0	0	20
	取組みの姿勢・意欲	0	40	0	0	0	40
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	授業の開講期間のうち、区切りを設けて2回の小レポートを課す。さらに全授業の終了後にまとめのレポート課題を課す。いずれのレポート課題も授業内で学び体感した内容について概観した上で、自身の行動・生活にどのように取り込めるか、考えてみた意見を論述するものとする。				コメントを付して返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	梅沢佳裕、田村正人、宮村りさ子、宮澤江梨子						
教員の実務経験	様々な年代で実践経験のある福祉系教員が担当する。						
実践的授業の内容	社会福祉学の広範な研究・実践の経験を踏まえて、人生について様々な観点から各担当講師がオリジナリティ溢れる教育コンテンツの提供を行う。						
そ の 他	全 8 回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。また、集中講義の日程は3日間の予定だが詳細は確定次第、学科から周知する。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われ得る。						

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】